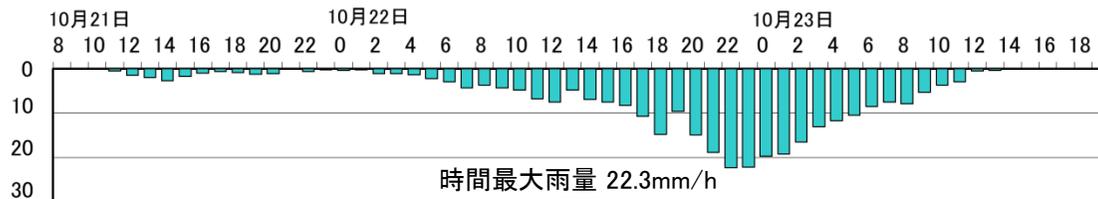


- ・大野ダム流域では、総雨量342mmを観測し、最大流入量が1,515m³/sを記録
- ・台風の接近に備え、事前にダム貯水位を約1.5m低下させ、必要なダムの洪水貯留容量を確保
- ・最大で約1,894万m³(京セラドーム大阪※約16杯分)の水を貯留し、下流へ流す水量を最大で643m³/s(約4割)減少させ、由良川の水位低減に寄与

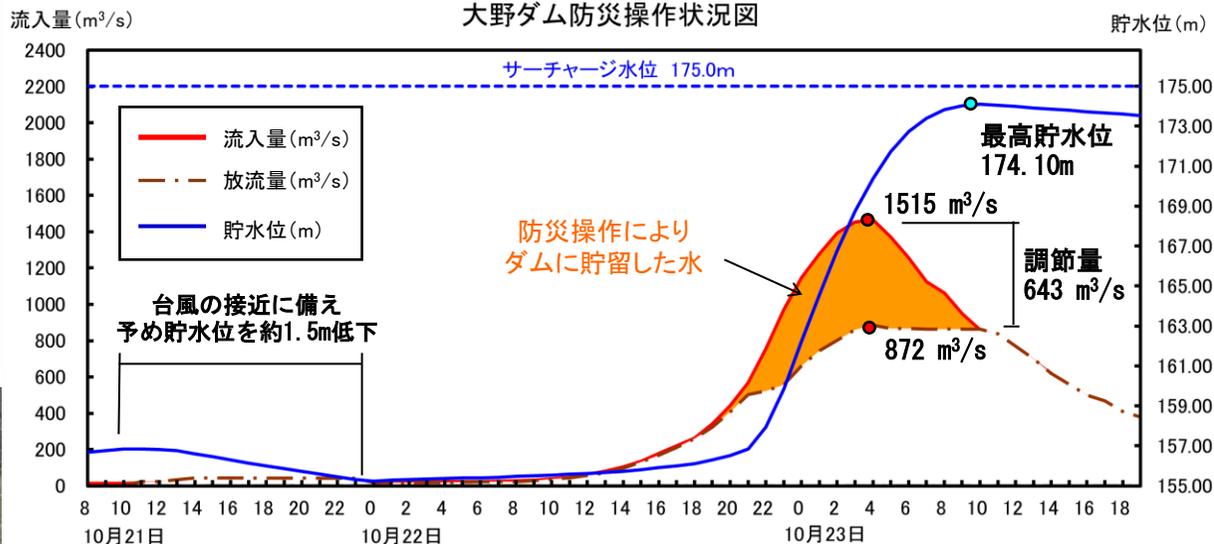
位置図



流域平均雨量 (mm/h)



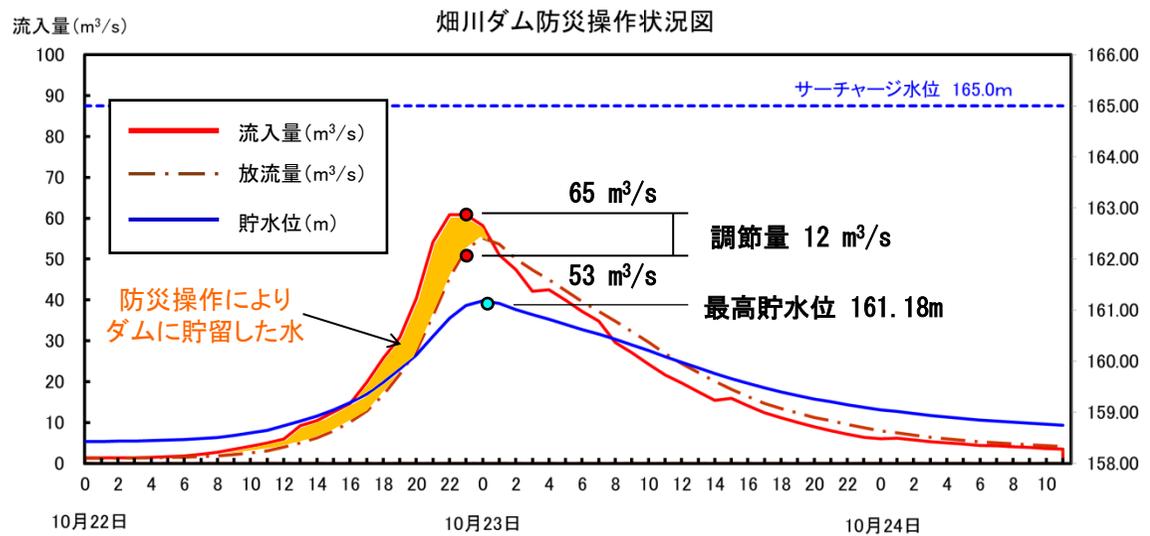
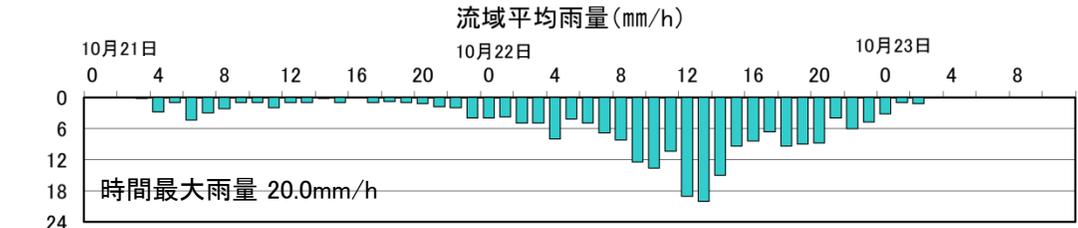
大野ダム防災操作状況図



大野ダム公園の浸水状況
(平成25年台風18号に
迫る貯水位を記録)

	平成29年台風21号	平成25年台風18号	平成16年台風23号
流域平均雨量	342mm	348mm	263mm
最高貯水位	174.10m	175.37m	173.53m
最大流入量	1,515m ³ /s	1,717m ³ /s	1,185m ³ /s

- ・畑川ダム流域では、総雨量245mmを観測し、最大流入量が65m³/sを記録
- ・最大で約92万m³(京セラドーム大阪※約0.8杯分)の水を貯留し、下流へ流す水量を最大流入時に12m³/s(約2割)減少させ、下流河川の水位低減に寄与



洪水吐からの放流状況(ダム下流より撮影)

ダムの貯水状況(ダム上流より撮影)

	平成29年台風21号	平成25年台風18号
総雨量	245mm	263mm
最高貯水位	161.18m	162.30m
最大流入量	65m ³ /s	105m ³ /s